

パカポコクラブの歩み

- 1999年7月 障がいのある方のレスパイトケアをするNPOレスパイトハウス・ハンズより余暇・療育活動する場として乗馬を取り入れたいとの要望があり乗馬活動始める。
- 2000年7月 ホシホマレが腰を痛めギンガを知人より借りて活動する。（以後自馬となる）
- 2000年11月 利用者増加の為、ダイヤ号をハンズと共同購入。
- 2001年9月 RDAJapan (Riding for the Disabled Association) 講習会開催・準ユニットとなる。
- 2002年7月 RDAJapan講習会参加
- 2002年11月 RDAJapanヘルパー講習会開催
- 2003年4月 毎月第4日曜日を一般の方の乗馬会とし、世代に架ける橋の方々がボランティア参加。
- 2003年7月 RDAJapanヘルパー講習会開催

1999～2003年の間、ハンズ余暇クラブ・放課後クラブ・千厩やまゆりの会、なかよしクラブ藤沢ふじのみ学園、前沢養護学校、黄金荘、等多くの団体、個人の方々の利用があり、毎年年間700鞍前後の騎乗がありました。その多くは成人でダイヤはじめ助っ人のギンガ・ユキのがんばりとボランティアさんの支えあって成しえた活動でした。感謝！

- 2004年2月 芳久が競走馬調教中落馬し入院（10月退院）
- 2004年4月 定例乗馬会再開
- 2004年7月 ハンズ利用者の乗馬会再開。 その他団体の乗馬会は縮小
- 2005年11月 RDAJapanヘルパー講習会開催
- 2007年9月 ユキ号を借りることになり入厩（以後自馬となる）
- 2008年6月 岩手内陸地震
- 2011年3月 東日本大震災
- 2015年7月 凜号が乗馬会デビュー

2004年2月に芳久が競走馬調教中に落馬し頸髄損傷を負い長期入院となりました。それまで平日の各団体の乗馬会は芳久が対応していましたができなくなりました。しかしハンズスタッフやボランティアさんの協力のもと定例乗馬会、ハンズ利用者の乗馬など可能な限りの乗馬を提供することができました。また、2015年からは凜と恭平牧恵夫婦が加わりました。

- 2016年3月 佐々木牧場花泉厩舎が一関に移転する。
- 2016年9月 ダイヤ号 引退（推定29歳）
- 2022年6月 ギンガ号 引退（推定30歳）
- 2024年4月 ユキ号 引退（29歳直前！）パカポコクラブ活動終了

2016年に一関に牧場移転し活動場所が変わりました。馬場状況が悪いため以前のような乗馬はできませんでしたが、自然の中で乗馬だけでなく凜の馬車に乗ったり、ツリークライミング体験、お花見会やいものこ会などしたり皆さんと楽しく交流することができました。ありがとうございました。